

# 「コウヨウザンの特性と増殖の手引き」を公表

## 1. はじめに

近年、林業関係者の間で早生樹の「コウヨウザン」が注目されていますが、それに伴い「コウヨウザン」について様々な方から問い合わせを受ける機会が多くなってきました。「コウヨウザン」については、成長や材質等、実際にどのような特性を有しているのか、どのような地域が植栽に適しているのか、種子の取扱いはどのようにしたら良いのか等について、詳しい情報が限られているためです。そこで、林木育種センターは我が国のコウヨウザンについて初めてとなる総合的な事業（研究プロジェクト）を推進し、そこで得られた研究成果について、この情報誌（No.23 及び No.24）や様々な媒体で研究成果を紹介してきました。今年3月に本研究プロジェクトが終了したため、このプロジェクトで得られた成果を「コウヨウザンの特性と増殖の手引き」としてとりまとめ、Web上に公開しました（URL:<http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/documents/koyozantebiki.pdf>）。本稿では、この手引きの作成の経緯と概要について簡単に紹介します。

## 2. 作成・公表の経緯

西南日本地域では、東北日本地域に広く植栽されているカラマツのような優れた木材強度と成長性を併せ持つ造林用樹種が少ない状況にあります。このため、これらの地域に適し、かつ植栽から収穫までの期間が短く、木材強度が高い新たな造林用樹種として、コウヨウザンに着目し、平成27年度から29年度にかけて農林水産省の農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「西南日本に適した木材強度の高い新たな造林用樹種・系統の選定及び改良指針の策定」により研究を实

施してきました。

この研究プロジェクトでは、林木育種センターが主体となってコウヨウザンの成長特性の解明及び優良系統の選定と品種改良指針の策定を行うとともに、材質特性のとりまとめと材質の系統間変異の解明を鹿児島大学農学部が、木材製品の試作及びその過程での性能評価については中国木材株式会社が、さらに、その試作品を用いた性能評価については広島県立総合技術研究所林業技術センターが、それぞれ担当しました。この研究プロジェクトを進めていく中で大きな関心、多数の問合せが寄せられました。得られた研究成果をいち早く林業関係者に還元するためには、林業関係者が必要な情報をわかりやすくまとめた「手引き書」の作成・公表が不可欠と考え、プロジェクトの終了と同時に公表したものが「コウヨウザンの特性と増殖の手引き」です。

## 3. 今後に向けて

この手引きでは、コウヨウザンに適した気候を始め、成長、材質、育苗等の特性についてわかりやすく取りまとめています。特に実際に苗木を生産するために必要な種子の取扱いや、さし木の方法といった苗木生産に役立つ実務的な情報に多くのページを割きました。

一方、苗木の育成、造林、施業等については、まだ研究を継続している段階であり知見も少ないため、この手引き書では充分に取り扱うことができませんでした。今後、さらにこれらの調査・研究を進め、この手引き書がより実用的なものとなるようバージョンアップしていく予定です。

（遺伝資源部 生方 正俊）

表紙タイトル写真は、2012年12月にケニア・キブエジに設定したメリア採種園。(2018年5月撮影)

林木育種情報 No.28

平成30年7月24日発行

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター  
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1

TEL : 0294-39-7000 (代)

FAX : 0294-39-7306

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>